

まちの話題

滋賀県知事選が、騒がしくなり始めた5月中旬。野菜カフェGREEN Kitchen(瀬田)にて、嘉田知事と三日月大造さんを囲む、っていう、かなりコアな集まりに行きました。一品持ち寄り、お酒もアリの大人時間。

いやはや、めっちゃ刺激的で楽しい時間でした!! 政治って、私たちの暮らしに結びついてるね。それって理屈では分かってても、実感しにくい。ましてやマスコミ報道はマユツバものばかり。こうやって、直接話するってとてもとても大事。「ことのは」を感じると、その人がどんな人か、どんな想いか、伝わる。

おいしいものを食べながらみんなで語り合えば、そしてその中に政治に携わる人がいれば、暮らしは少しずつ変わっていくはず。「お任せ」じゃなく「引き受けて、一緒に」。引き受けるのも、一人じゃ荷が重いけど、仲間とならやっていけそうじゃない?

みなさんも、こんなおしゃべりの場に、来てみませんか? feel, the shiga local. 20140713? <https://www.facebook.com/tfn713> (綾牧生)

びわこおっぱい塾info

おっぱい塾は、母乳育児を望む母親たちが集う安心スペースとして、2004年から始まり、現在滋賀県内の9カ所で開催されています。どうぞお気軽に、お近くの集まりに顔を出してみてくださいね。

総合案内ブログ「びわこおっぱい塾」
<http://biwakooppaijuku.blog70.fc2.com/>
＜草津おっぱいっこクラブより＞

南草津駅に隣接した施設で、毎月第2金曜日に開催しています。子育て経験の豊富な助産師とお世話役が、赤ちゃんに会えるのを楽しみに、お待ちしております!

碧いびわ湖情報紙「あまいろだより～天色便り～」第19号
発行日/2014年6月15日
編集/あまいろ探偵団
(綾牧生・岸田知之・北岡七夏・きむきがん・中野和子・藤井朋子)
発行/特定非営利活動法人碧いびわ湖(旧滋賀県環境生活協同組合)
〒521-1311 滋賀県近江八幡市安土町下豊浦3番地
TEL 0748-46-4551 FAX 0748-46-4550
Eメール info@aoibiwako.org
びわこ未来ブログ更新中～♪
<http://aoibiwako.shiga-saku.net/> (滋賀咲くブログ)
*kikito びわ湖の森を元気にするkikitoペーパーを使用しています(びわ湖の森の間伐材活用)



あまいろだより



ここからつながる

天色便り
あまいろ探偵団、走る!手づくり市民メディア
第19号 2014.6.15

暮らしのコラム 「私と梅の十数年」村田佳子

信楽で暮らし、家事を始め、子育ても経験するようになって十数年がたちます。我が家をつくって食べる毎日はほんとうに真っ白からの出発でした～。

家事歴1年生だった頃の今くらいの季節、私の心をくすぐったのが『梅』です。梅干し好きだったんか?自分でつくるといって憧れだったのか?想いのほどは曖昧ですが、まず初めは丸々した輝く青梅で梅肉エキスが作りたい!と思ったのです。夫を巻き込んで大量(大鍋1杯ほど)の実をひたすら擂り下ろす作業だったのですが、これが想像以上に困難。手は痛くなってくるのに終わらない...、鍋に入れた梅肉は煮詰まってしまう(むずかしいのよ)、真夜中までかかってようやくできたエキスは、大さじ2杯程度の極めて貴重なものでした。「あれは、苦痛やったわ」と忘れない夫。「我が家と梅」の第1ページです。

以来、梅肉エキスには手を出していませんが、梅にくすぐられ、ここから私にとって毎年なくてはならないものになりました。数年前に乗松祥子さんの著書「宿福の梅ばなし」を読んで、梅のちからってなんて奥が深いんだろうと感動した時は、塩を焼いて梅と合わせ、土干しでは3時間ごとに天地返しながら世話をするうちに、一粒一粒が我が子のように思えてきて目が離せない... (これほんと)。手をかけるとは言うけれど、目(気なのかも?)をかけるんだという感じがわかった気持ち。梅干し、しょうゆ漬、梅味噌、梅酒、梅酵素。夜ごと梅、梅と、やりすぎた年も経て、今は自分に合った梅仕事を続けています。

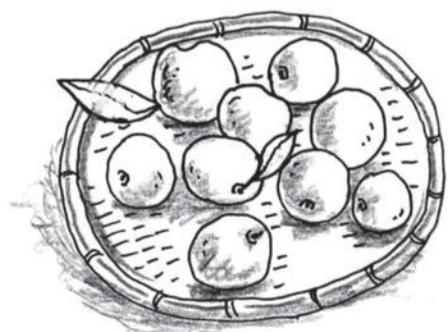
細々とながらも続けているのは、自分で作ったものが、普通だけどいちばん美味しいから(私の手は私の体に合う味になるのかなと思

子どもは水辺で育つ
ホタルの住むまち守山らしい「くらし文化」
子育て広場、やっています♪
～子どもの野外遊び×親のおしゃべり～
*毎月第4月曜日
*守山市目田川河川公園にて
守山図書館の脇を流れる目田川をご存知ですか?図書館からすこし下流では、守山市とびわこ豊稷の郷の協働によるモデル河川(多自然河川)づくりが行われています。ここで野外・子育て広場をやっています♪くわしくはびわこ未来ブログをごらんください!

表紙タイトル/岸田知之

ます)。そして、毎年やってくるものは、大丈夫という幸せな感じに繋がって、その度に面白い発見ができるからかな。その賜物が弁当箱に1個、おにぎりに1個、欠かせないものになりました。梅を塩漬けする時にできる味わいある梅酢もすくて、夏場の料理の腐敗を防いでくれる一石二鳥の調味料として活躍し、喉が痛い時は、強力な殺菌効果のあるうがい薬、下痢がひどい時はお腹を休ませてくれるスペシャルな存在です。棚の奥の瓶にある10年以上前の梅干しも(長期間たった味噌も)薬になって家族を支えてくれました。昔からずっと続いてきた恵みと知恵を、私はいろんな人から教えてもらいました。そこそこにも感謝。今は「作る日々。食べる日々。」が、ぜいたくな学びだなど、満ちた気分をしみじみ味わっています。

入梅の季節、そろそろ梅の実の香りが楽しめますね。



このコラムは、「暮らし」をテーマに、毎月筆者を替えて寄稿していただきます
村田佳子...信楽在住、自然育児サークルなちゅらる・まのメンバー。多方面に優れた審美眼を持ち、隠れファン多し。

こんな本、いかがですか?

『うまれるつながるひろがる 湖南消費生活協同組合の20年』
(奥野哲士/草思社)

「うわ～懐かしい!とおっしゃる、古くからの会員さんもうらっしゃるかも。

この本は、碧いびわ湖の前身、環境生協のそのまた生みの親の、湖南消費生活協同組合の20年を記した記録です。1972年、立ち上げたものの売の商品がない、「うちの醤油を・お米をどうぞ」と地元生産者から分けてもらっての産直商品の取り扱いにスタートした湖南生協。びわ湖の赤潮発生への衝撃から、全県に広がったせつけん運動、日本初の環境生協の設立、さらには34万人分を集めた「甞れ琵琶湖署名」請願運動、22万人でびわこを取り囲んだ福祉イベント「抱きしめてBIWAKO」の成功から「しみんふくし生協」の設立へ...という歴史に触れることができる。

3年前に越してきて以来、底知れない力を滋賀の人々に感じていた私。こんなすごい歴史があったんや!!とまた、度肝を抜かれてしまった!

驚きの理由の第一は、目の前に生じた問題に、行政の対応を待つのではなく、自ら原因を分析し解決策を練りあげて、ネットワー

クを活かして広げて解決しちゃう、その住民自治の力。また、「美しいびわ湖」「障がい者と共に生きる社会」など共有する目標のために、様々な団体が思想・信条の壁をこえて協働するしなやかさ。びわ湖を入口に、地球環境全体へと広がる視野、環境意識の高さ。このびわ湖を巡る運動が、武村県政を産み、現嘉田知事に至るまで40年間、環境と暮らしを重視する県政が引き継がれてきた。

というわけで、私の目下の関心事は7月に迫った県知事選。「滋賀は経済成長の波に乗り遅れている?」「原発は依存度を下げつつ必要?」「学力日本一を目指す?」

うーん、こんなに豊かな住民自治の底流があるやん。びわこに取り返しをつかん汚染がばらまかれたらどないすんの。くらしと環境を思うものづくりと、その思いも共に受け取る消費者との支え合う経済網、これをこそ後押ししてくれんやろか、と私は思う。みなさんはどんなことを新知事に期待する?どんな未来を広げていきたい?

7月13日、知事選ですよ～。(藤井朋子)

蟻の牙

選挙は必ず行く! 村上美和子

ありませんか? 生活の中の、これだけは... というこだわり。小さいことだけど、私一人やって仕方ないかもしれないけれど、でもやっぱりこれだけはゆずれない... というこだわり。小さいけれど、痛く突き刺す、「蟻の牙」のようなこだわりを紹介します。

私がない事は、棄権です。いろいろ情勢はビミョーです。が、諦めませんよ! トップがどんな考えを持っているかで情勢はガラリと変わる。選挙に行かないって事は、首長になって欲しくない人に一票投じる事です。

